

穂の国 34.通信

お客様の夢を希望へ、 希望を製品へ、そして進化へ

あいさつ
会社の歳時記
技術の時間
ちょっとコーヒータイム

Vol.9

(有)今泉大伸



〒441-3131
愛知県豊橋市大岩町字小山塚6-2-28
:0532-41-8282
FAX:0532-41-8297
E-mail info@imaizumidaishin.co.jp
http://www.imaizumidaishin.co.jp

あいさつ

このたびの東北地方太平洋沖地震災害により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

ゴールデンウィークも終わり、夏に向けて生産活動が始まりました。

東日本大震災の影響もあり、トヨタでは12連休ととても長い休みとなっております。また終わった後も、生産活動も本格的な始動は、まだ時間がかかりそうです。

その中で現在思っていることは、「かなり経済活動の方向性が変化してきている」と、そのように感じております。

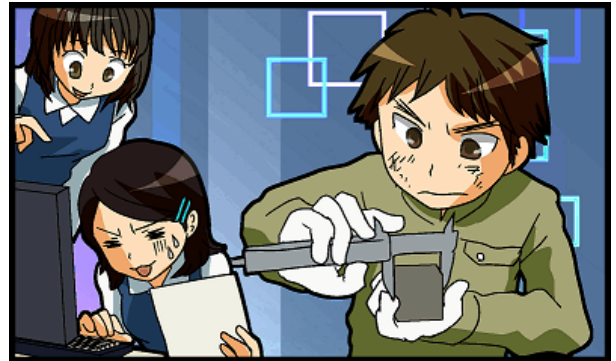
ただこのことは、私自身の個人的な意見ではなく、ここ数年お聞きしている経営コンサルタントのお話でも話されていることです。

今後、市場の縮小を前提とした経営のあり方、技術の取り組みをしていくのが大切なのではないかと思っております。

では、技術的にはというと、市場の拡大時は分業化が効果を上げますが。

縮小時は、集約化がとても大切なのではないかと思っております。

ただ(今までも行ってきましたが)今後は、さらに勉強しないと加速的に早くなっている市場に対応できないのではないかと思っております。



ただ、私達のニュースレターは、自分たちの技術で困ったこと、考え方で困ったことなど、気づく事への小さなきっかけになる事があれば幸いです。

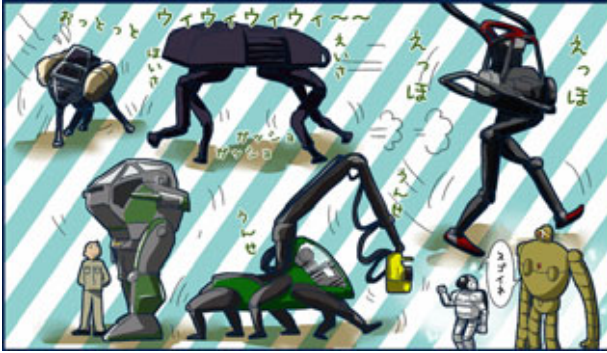
一人の人間の技術の高さが、経営に大きな影響を与える時代になったということです。

特に、今年入った新人さんたちには、企業が君たちを育てる時間が長くなればなるほど、企業は経営が大変になることを気づいてほしいし、最後に成長させるのは自分で勉強するしかないのです。

もし新人さんであれば、早くあなたが成長することが一番の会社への貢献とと思ってください。

そんなことで、今月もニュースレターをご覧ください。

会社の歳時記



今月の会社の歳時記は、ロボットに使用する油圧シリンダーを作成させて頂いた時のお話をしたいと思います。

さて、お話を始める前に...、ロボットといっても、産業用ロボットではありません。

ヒューマノイドロボット、ホンダのASIMO、又は映画ターミネーターの時ロボットの筋肉の役目をするような油圧シリンダーを作成しました。

皆さんは、ディズニーランドのキャラクターがすべて油圧で動いていることはご存じですか？

では、なぜ油圧なのでしょう。1つには、機械的なロボットの場合、ASIMOの大きさが限界なのだそうです。

もし、人間の大きさほどのロボットを作成するのであれば、油圧システムを使わないとだめなのだ、と教えていただきました。

では制御はというと、それが、ASIMOなどのロボットよりも制御は簡単なのだそうです。

そして、現在、アメリカがその先端を走っているのですが。

それはロボット技術が、軍事上から多額の予算を経て発展してきている、そんな経緯があります。

でも、今回の原発事故の対応からしても、ターミネーターなどのロボットがあれば安全に、そして安心して処理できるのに...と、思いました。

今後は、今回の原発事故の経験を踏まえ、国は長期的な防災の視点に立って、やはり作業現場で活躍できるロボットの開発を、長期で開発できる予算が組めればよいのにと考えます。(希望です。)

というわけで今回は、関西の雄、立命館大学のロボット工学の先生よりご依頼がありまして、下記のような**油圧シリンダー**を作成させていただきました。

また、今後、このようなものがあればいいのに、というご感想もいただきましたので順次取り組んでいきたいと思っております。



失敗の中にこそ、成長がある（三回目）

前は「初動」の大切さについてお話をしました。

今回は「初動」はOKだけど！のお話をしたいと思います。

実は絶対完璧ということはないのです。これは、探せば必ずどこかに足りないところや、こうすればというのはあるものです。

しかし、あまりにそれに囚われすぎると今度は悪い方を呼び込んでくるのでそれもまた気をつけた方がよいのです。

だから「初動時最悪を想定し、準備をする。できる限りの準備をしたら全力でよい方向を考える。そうすればうまくいくようです。」

これを元に思いましたのは、先日見ましたカンブリア宮殿です。

ケニアナッツ社(株) 佐藤芳之社長には感動しましたね！

金言1：夢を語るのではなく目標に向かえ

金言2：強い気持ちが明日を拓く

本当にその通りだなと感じました。

みなさまにも、一度拝聴していただきたいと思います。

<http://www.tv-tokyo.co.jp/cambria/kingen.html>



そしてもうひとつ思い出されるのは、先月号にて八甲田山をお伝えしましたが、当時から日露戦争を想定したそうです。

その日露戦争の天王山、203高地攻防戦において、三度攻撃に失敗し多大な犠牲を出しつつも最後に臆することなく指導した、乃木稀典及び児玉源太郎に感銘をうけました。

乃木が最後の突撃をする際、参謀は腰が引けていたようです。

最初に児玉が「私が考えていることは、この戦争に勝つこと」と私心を捨て、まず**目標を明確にしたこと**、

次に、参謀たちに「戦は気合じゃぞ、できないこと言う前に実行せい」そのように促したようです。

一度決めたら、目標にむかって進む。

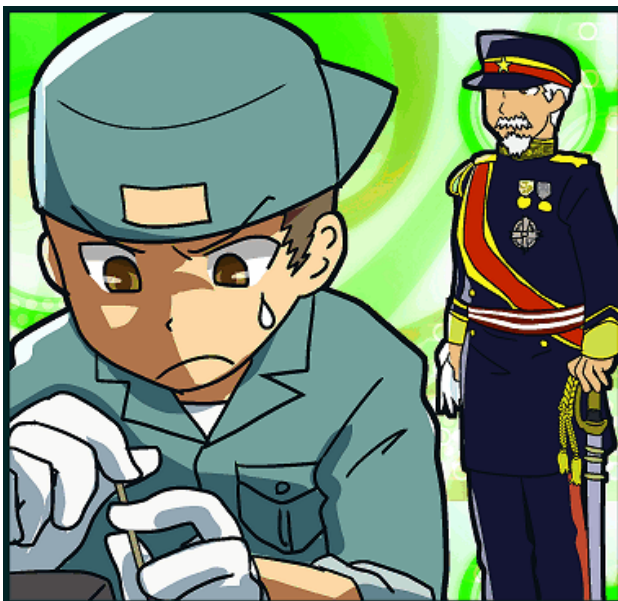
そして、強い気持ちが勝利を導く、今も昔もおなじですね。

ただ、ここで注意していただきたいのは、児玉は戦争の落としどころ、これ以上は無理だということを知っていた点です。

自分の無理を知らないまま突き進んだ場合は、太平洋戦争のような結果を生みます。

「敵を知り、己を知れば百戦危うからず」。これだけは注意してください。

というわけで、今月号の技術の時間は「**目標を達成するためには気合が大切だ**」ということでした。



ちょっと コーヒータイム

おわびと訂正
先月号(vol.8)のあいさつの中にて誤りがありました。「日本経済の央を～」が誤りで、「日本経済の中央を～」が正しい表記となります。
申し訳ございません。



先日、北設楽郡豊根村間黒の友達の家遊びにいったまいました。

ここはどこかという、もう、長野県と愛知県の境の集落です。

国道151号線より一山超えた、本当のどかな村でした。

宮崎監督の「となりのトトロ」でとトロ口がでてきそうなところなのです。

なんか、映画の風景そのままのところなのです。

今年の正月、NHKの新日本紀行の(花祭りのある村)ということで紹介されました。

現在は若者が町(豊橋や豊田など)に出てきてしまうために花祭りは行われなくなってしまったそうなのですが。

そこで春の幸、**ごみとたらの芽**を採り食べさせていただきました。

ごみは道に生えているので簡単に採れるのですが、たらの芽は大変なのです。

なんと5~6mはある**たらの木**の先端の新芽を採るわけですが、ここではどのようにしたか?

まず山の斜面に**たらの木**がはえておりますので、足場は悪いです。

そこで木の先端の新芽を採るのですから、まず、革手袋をはめて準備。なにせ木にトゲがありますからね。

次にはしご、もうひとつは火消しが使う鉤のついた道具、それとロープに木を縛ったものを用意いたしました。

取れるところははしごに登ったりして採りますが、できない場合は縄をなげてひっかけて木を引っ張ります。

そこで、引っ張る人とる人に分かれて共同作業で行うわけです。斜面がきついで、一步間違えれば転落です。

そして成果は、20本ぐらいでしたかね。大収穫でした。そのあと膝がわらってしまいました。

友達にスーパーでよく売られている**たらの芽**と違うんだよ、と教えていただきました。スーパーのは苦味がないんだって。

しかし、自然のものは軽い苦味もあり、本当にお酒のつまみのぴったりなんですよ。

ほんとうに春を満喫した一日でした。

てなわけで、今回は**たらの芽**収穫奮戦記をお伝えいたしました。

